

午後 1 時 1 分

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 欠席委員連絡（福島委員）
-

午後 1 時 1 分開議

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 開会宣告
 - ・ 議題の確認
-

1 閉会中継続審査事件

(1) 請願第 2 号 函館の子どものための予算を増やし安心できる保育・学童保育の実現を求める請願

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回の委員会で、各会派に持ち帰り検討することを確認していたので、各委員から御発言いただきたいと思う。
- ・ 最初に市政クラブさん、お願いします。

○能登谷 公委員

- ・ 我々もいろいろ討議した。毎回毎回出てくるけれども、特に保育料に関しては、保育園だけでなく普通の幼稚園にも保育料というのはあって、保育園だけが保育料を払ってるわけではなく、幼稚園にも保育料を払ってると。だから、保育園だけ無料にするということは、いわゆる不公平さがあるんじゃないのかなという部分はある。
- ・ それで、第 1 項、第 2 項、第 3 項、第 4 項、第 5 項、第 6 項にかかわってだが、我々としては、総論はバツだ。ただ……。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 採決は今とってないので、各会派の御意見を。

○能登谷 公委員

- ・ ごめん、先に言っちゃった。
- ・ 我々としては、例えば第 6 項に関しては、会派としても、何とか近隣の市町と同じに無料にすべく、何とかあと 1 割の負担ということでやっているが、どうしても予算化ができないと。あと 1 億円くらいかな、かかるということなんだが、予算化ができないということで、何とかもう少し時間をかけながらやっていきたい。
- ・ 保育料に関しては、第 3 子の保育料を何とか無料化にしようということで、今、我々自身も頑張っている。そういう中では、第 1 項、第 2 項、第 3 項、第 4 項、第 5 項も、いろんな部分の中で考えるということで、我々の会派では、そういう考え方の中で進めたいと思っている。以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ わかった。

- ・ 次に民主・市民ネットさん、お願いします。

○齊藤 佐知子委員

- ・ 前回は請願が上がってきて、今回も同じような内容で上がってきていた。ただ、1項目だけは、学童保育のところがちょっと違うというのがあり、実際にアンケートとか、それからお話も聞かせていただいた。
- ・ そういう中で、当然、うちの会派としても、やはり函館の子育て支援というところでは、もう少しいろんな形でお金をかけるというか、財源をかけてほしいという思いはあり、今回、うちの会派としても、新しい年度の、市長への政策予算要望の中で、保育料の――能登谷委員がおっしゃっていたが、うちも第3子の保育料、それから医療費にかかわって、ぜひ無料にさせていただきたいということも出しているのです、きょう、請願の結論というか、それを出すのは構わないと思う。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に、公明党さん。

○松宮 健治委員

- ・ 今、お二人の委員から話があったように、一昨年11月に同様の請願が出ていて、昨年――1年後に、もうちょっと踏み込んだ形の請願書が出ているということは承知をしている。
- ・ そういう中で、全く、国初め市が、この保育料の件であるとか、さまざまな支援策を講じてないんであれば、かなり議会としてもきちんとしてやってほしいという要望を出すべきだと思うけれども、いろいろ調査していく中で、市は市の独自の、段階的な保育料の査定であるとか、やっていると承知をしているので、請願の項目一つ一つ検討をさせていただいたけれども、傾聴に値するけれども、今もう少し推移を見守る必要があるだろうと思っている。
- ・ 第5項の公立保育園をなくさないでほしいということに関してだが、これは市の大きな方針として、保育園の民営化ということは既に決定済みなので、これはなかなか難しいことかなと思っている。
- ・ それから、医療費助成に関しては、これは私たちも他市を調査したときに、やっているとところも実際あるし、重要なことも思うけれども、ここもなかなか難しいところで、少しずつではあるけれども――不十分なことは私も承知している、近隣市町に比べて。ただ、市としては手をこまねいているわけではなくて、少しずつステップアップしてるのかなと思っているので、公明党としては、請願の趣旨を理解しながらも、なかなか意には沿えないかなと思っている。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に、日本共産党さん。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 私どもの会派から、紺谷 克孝議員、中嶋 美樹議員が紹介議員になっているので、私どもは全面的にこの請願に対しては賛成したいと思っているけれども、先ほど来から去年と同じ内容というふうに出ているけれども、やはりこの問題に関しては、今回、解説資料も沿えていただき、さらに緊急アンケートもしていただき、その資料をもとに請願していると思って、今の子育てしている親たちの切実な要求だと私は受けとめている。
- ・ 保育料に関しても、全国調査的には低くしているけれども、それでもまだ6割の親たちが、保育料

が高いと言っているのは、乳幼児医療費も含めてお金がかかるんだと、給与の半分が保育料になっているんだという、そういう実態のもとにこの声が出ていると思うので、私たちは賛同したいと思っている。

- ・ 保育士不足に関しても、保育士の賃金など、以前から言っているように、本当に低い賃金で何とか頑張ってくれている。子供の、本当に発達のために保育していただいていると思うけれども、そこを何とか国の制度も変えながら、そして函館市としても何とかしてあげたらいいなと私も思っている。
- ・ それと、第3項についてだけれども、国の基準を上回る保育士の配置をということで、これは国基準が30年以上も変わらずに来ているということが根本原因ではあるけれども、今、現実には保育をしている保育士さんたちのことを考えたり、子供の発達のことを考えていく場合には、このことについても早急に対応すべきだと思っている。
- ・ 第4項の放課後児童支援員についてだけれども、これは長年の課題だ。私たちもうずっと要望してきているけれども、昨年、学童保育料が1人2,000円軽減されたということについては、もちろん私たちも、指導員の方たちも、非常に喜んでいるけれども、それでもなおかつ、放課後児童クラブについては、本当に大変な中で、指導員の先生方も頑張ってくれているので、せめて国補助基準額まで上げるべきであり、それに対しての補助金も上げるべきだと思っている。
- ・ 第5項についてだけれども、公立保育園をなくさないでいただきたいということで、この請願書の解説書の中には、「花園保育園及び湯浜保育園を公立保育園として残すことを強く要望します」と書いてあるけれども、後でまたちょっと議論したいと思うが、湯浜保育園は民営化として残すのではなくて、閉園という方針に変わっているので、そこら辺も酌みしていきたいと思うので、私たちとしては公立保育園はなくさないでということは、当初から言っているので賛同したいと思う。
- ・ 第6項についてだけれども、乳幼児医療費については、長年私どもも言っているけれども、近隣が高校生まで完全無料ということで、そこまででなくても、とにかく乳幼児にかかる医療費を無料にしてほしいという、本当にささやかな願いだと思っているので、これは賛同したいと思って、6項目全てについて賛同したいと思う。以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に市民クラブさん、願います。

○工藤 篤委員

- ・ 御承知のとおり、市民クラブはそれぞれ考え方が異なるものだから、市民クラブ統一としてはなかなか見解をまとめることはできないということを御理解いただきたいと思う。
- ・ 全般にわたって、私としては、人口減少ということを考えたときに、この皆さんのアンケートを読んでもみると、もう1人欲しいけれども、今の状況では子供をつくれないう切実な声が上がっているから、これは政策として函館市が——この間、視察にも行ってきたけれども、大胆に踏み切るということも必要なんではないかなと、私は総体的に思う。
- ・ 個別に言うと、保育労働者の賃金の関係については、前にも申し上げた記憶があるけれども、解説資料の中に「厚生労働省の平成26年賃金構造基本統計調査の統計データでは北海道の保育士の平均給与は、19.2万円（平均年齢33.1歳）、平均年収286.5万円となっています」と書かれているが、函館市

の場合はどうなのかということで、担当部局に聞いたら調べていないということだった。その辺がどうも納得できないので、もう少し——行政が調べてないとするならば、私どもがそれに踏み込んでいくということも考えていくべきなんではないだろうか。それでなければ、ベースとしての議論が全くできないと私は思っている。

- ・ それと、公立保育園だけれども、もう残ってるのは2つくらいだ。そういう意味からすると、湯浜は……。〔湯浜、花園、恵山〕の声あり〕だから、湯浜は今、閉園という方針になってしまったので、公立保育園はやっぱり、これだけになったら残しておいて、そこと民間との対比なり、よりよい保育の質向上のためには、ということも考えたときには、もう残しておく必要があるんじゃないかと思っている。以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 一通り、各会派に持ち帰って議論をし、今、各委員に御発言を、会派の代表としてしていただいた。それで、各会派で十分議論をしたということでよろしいか。そして、斉藤委員からも、きょう採決でもいいんじゃないかという御発言もあった。採決するということでよろしいか、皆様。〔異議なし〕の声あり〕わかった。
- ・ あとほかに、これだけは発言をしたいという、何か御発言はあるか。よろしいか。〔はい〕の声あり〕
- ・ それでは、採決態度の確認に移る。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 当委員会に付託された請願について、順次、各会派の賛否をお伺いする
- ・ また、議運申し合わせにより、不採択の決定をした請願については、賛否の理由等に係る発言の記録を請願者へ送付する扱いとなっており、この協議の場での発言を送付する扱いとしたいと思うので、よろしく願います。
- ・ それでは、採決態度に入る。市政クラブさん、願います。

○能登谷 公委員

- ・ 先ほども申し上げたとおり、第1項に関して、保育料を減額してほしいというのは、保育園だけでなく幼稚園もあるので、これはもう少し時間をかけなきゃなんないんじゃないのかなど。まして、相当の——どっちも保育料がなるとなれば、10億円以上の予算がかかるということだ
- ・ それと、保育士云々ということだが……。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 第1項はバツでよろしいか。

○能登谷 公委員

- ・ 総体にいけば、バツだ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ はい。

○能登谷 公委員

- ・ 第2項は、独自で、賃金云々というのだが、先ほども言ったように、厚生労働省の部分もあるけれ

ども、全体的な賃金も、前から比べればじゃあ下がってるのかといえそうじゃなくて、やっぱり市も相当努力してる部分もあるから、そこを加味していけば、これも願意に沿えないんじゃないかと。

- ・ それから、全ての子供の発達保障、いわゆる保育士の資格を有する方ということだけれども、保育士を本当は行政のほうも、潜在保育士って言ったらかわいいが、今、休んで、これからやりたいという人たちを募集しても、来ないというような形。結局、賃金が安いからというけれども、介護士よりは高いんだ、保育士のほうが。だから、最低賃金の中でやってる部分もあるけれども、そういう保育士云々の給料は、我々としては、行政も少し介入してやってる部分はあると認めるので、これもちょっと願意に沿えないと。
- ・ それから、放課後児童支援員の処遇改善。これは昨年か、2,000円上げてということで、それも一生懸命やってる部分があるし、それから学童保育の中で、いろんなことを工夫して、預かる子供がふえてるという——うちの近所にあるけれども、そういうところもあるから、いろんな部分で創意工夫が必要じゃないかなというの中では、処遇改善してどうのこうのというだけで、それがオーケーになるのかということではないんじゃないかなと思う。これも願意に沿えない。
- ・ それから、公立保育園をなくすなというけれども、今、その流れが——先ほど公明党からもあったけれども、流れが完全に、市自体が民営化という中で、少子化の中でやってるという部分もあって、やはり公立保育園のあり方というのは、果たして今、この現状でいいのかどうかというのを考えれば、やっぱり民営化ありで考えていかなきゃならないんじゃないかなと思う。
- ・ それから、乳幼児の部分。確かに、我々の会派も上げているし、乳幼児の医療費無料——何とかこれを無料にするというのは、それから保育料の——さっき言ったように、第3子から保育料を無料にするような形の中で何とかということ、今、我々の会派も手だてて上げてるし、子育てというか、産み育てるというのを、この民生常任委員会全体で今、考えてやってるから、そういうことを考えれば、もうちょっと時間を欲しいということで、バツでいきたいと思っている。
- ・ 以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 不採択だけれども、時間をかけながらしっかり対応していきたいという、市政クラブのお考え。

○能登谷 公委員

- ・ はい、そうだ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ はい、わかった。
- ・ それでは次に、民主・市民ネットさん、よろしく願います。

○斉藤 佐知子委員

- ・ 第1項は、子ども条例の理念の実現というのは、非常に大事なことだと思っている。ただ、世帯の所得にかかわらず保育料を減額——今回、うちとしては、第3子にかかわって保育料を無料にしてほしいってしているので、この第1項にはちょっと沿えないので、バツになる。
- ・ それから、第2項、保育士の不足のことも、もうこれは函館だけでなく、全国的にも本当に保育士不足。そして、それがイコール、質という問題にもつながっていくと思って、本当に保育士さんの

給与を上げていく問題は大変重要だと思っている。これは、前回にも申したが、国も今、進行中という中で、市として独自に賃金を上乘せ——じゃあ、幾らの額が適当なのかっていうあたりとかは、なかなか私たちだけで議論をするというのも大変難しい状況もあると考えて、第2項もバツだ。

- ・ それから、第3項、国の基準を上回る保育士の配置を独自でという。なかなか今の状況を考えると、やはりこれも難しいと思うので、バツだ。
- ・ 第4項、放課後児童支援員の処遇改善費を国庫補助基準額まで増額していただきたい。現在は、国、市、それから道かな、3分の1ずつ補助をしていると思うが、それを補助基準額になったときに、当然それは国だけではなく、市の負担もさらに増額するということになるので、なかなかやはりその部分を市でふやしていくというのは難しいと思うので、第4項もバツだ。
- ・ 第5項の公立保育園に関しては、うちは前から言っているが、公立は、民間のやはり基本で、指導的立場だと。全体の流れとしては民営化となっているが、もう今、わずか1園か2園しかないという状況では、やはりこれ以上なくさないという必要があると考えているので、これはマルだ。
- ・ それから第6項、函館市として医療費を無料にしていきたい。これも、なかなか予算的にはかかると思っているが、他市町村、また少ない子供たちへの支援を考えると、これは具体的にこうしていただきたいという請願なので、これはマルにしたいと思っている。
- ・ 以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ はい。
- ・ それでは、公明党さん、お願いします。

○松宮 健治委員

- ・ 先ほど基本的な考えを申し述べたけれども、一昨年の請願から函館市の政策が後退してるのであれば、これはしっかり函館市に対して物申さなくちゃいけないけれども、そこからは少しずつでも前進してると私どもは評価しているので、その観点から申し述べると、第1項についても、第2項についても、第3項、第4項までは願意に沿えないということで、バツになる。
- ・ それから、第5項に関しては、先ほども申し述べましたけれども、民営化を見直すということになるのであれば、市の大きな方針転換であるので、これはなかなか今、市としては民営化を見直す方向にはないと私は承知しているので、これも願意に沿えないということで、バツになるかと思う。
- ・ 第6項の医療費の無料化、これはとても大事なことだと私どもも承知をしているけれども、ただ、基本的には、周辺市町がそうだからそれに右へ倣えではなかなか主体性もないだろうかなと私は思っているし、それで函館市がどうのこうの決めるわけではないけれども、これも結構大きな方針転換になっていくと思うので、今の段階では努力義務は必要かと思うけれども、願意に沿えないということで、バツということになる。
- ・ 以上だ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ はい。
- ・ 日本共産党さん。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 先ほども6項目について全て述べたけれども、この請願は、今の函館市の子育てをしている親たちの切実な要望だと思っている。紹介議員も2人、私たちの会派から出ているので、全て賛同したいと思うが、特に第6項の「全ての乳幼児にかかる医療費を無料にしてください」と。高校生まで無料にしてほしいと、私たちの会派は言っているけれども、これ本当に、せめて乳幼児にかかる医療費を無料にしてほしいというささやかな要望だと思っているので、本当に実現してほしいと思っている。
- ・ 全てこの6項目についてはマルということで、賛同したいと思う。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ はい。
- ・ 次、市民クラブさん、お願いします。

○工藤 篤委員

- ・ 先ほども申し上げたけれども、市民クラブは意見が分かれているので、多数決でやると全てバツということになるが、それがどう転ぶかわからないというのもあるので、個別で言うと——ただ、今までの経過の中で言うと、全てバツということになります。（「一人もマルはないのか」の声あり）1人はマルがいる。いるけれども、多数決で、会派としてなると、そういうことだ。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ じゃあ、第1項から第6項までバツと。

○工藤 篤委員

- ・ はい。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ わかった。
- ・ それでは、賛否態度及びその理由についてお聞きした。これらについて、さらに委員間で協議すべき点はあるか。（「なし」の声あり）
- ・ ないようなので、発言を終結する。
- ・ 一通りお聞きしたので、各会派の賛否態度の確認をする。まず、市政クラブさん、第1項から第6項までバツ。民主・市民ネットさん、第1項から第4項までバツ。第5項、第6項とマル。公明党さん、第1項から第6項までバツ。日本共産党さん、第1項から第6項まで全部マル。市民クラブさん、第1項から第6項まで全部バツ。よろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ 各会派の賛否態度を確認した。これで、協議を終了する。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ それでは、事務調整のため、午後2時まで暫時休憩する。

午後1時28分休憩

午後1時55分再開

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 再開宣告

- ・ それでは、これより、請願第2号函館の子どものための予算を増やし安心できる保育・学童保育の実現を求める請願について、順次採決する。
 - ・ まず、請願第2号函館の子どものための予算を増やし安心できる保育・学童保育の実現を求める請願、第1項から第4項までの以上4件を一括して採決する。各件は採択することに御異議ないか。（「異議なし」「異議あり」の声あり）
 - ・ 異議があるので、起立により採決する。各件を採択することに賛成の委員は、御起立願う。（起立少数）
 - ・ 起立少数である。したがって、各件は不採択と決定した。
 - ・ 次に、請願第2号函館の子どものための予算を増やし安心できる保育・学童保育の実現を求める請願、第5項及び第6項を一括して採決する。各件は採択することに御異議ないか。（「異議なし」「異議あり」の声あり）
 - ・ 異議があるので、起立により採決する。各件を採択することに賛成の委員は、御起立願う。（起立少数）
 - ・ 起立少数である。したがって、各件は不採択と決定した。
 - ・ お諮りする。閉会中に委員会が行った審査については、次の定例会で報告することになるが、委員長報告については議会運営委員会で確認されているとおり、多数意見を報告することとし、その報告文については委員長に一任願いたいと思うが、これに御異議ないか。（「異議なし」の声あり）
 - ・ 異議がないので、そのように決定した。
 - ・ 議題終結宣告
-

2 その他

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か御発言あるか。

○市戸 ゆたか委員

- ・ 実は、湯浜保育園の閉園に対する資料を去年の暮れに子ども未来部からいただいて、閉園説明会があるということだったので、私ちょっと参加してきた。1月11日にあって、参加が18名いたんだけど——お父さんお母さん、いたんだけども、物すごい、閉園に対する不満と不平、それから不安、そういう意見が多々出て、「今までの方針は民営化ということで聞いていた」と、「民営化と閉園は違うんじゃないか」ということで、カトリック湯の川幼稚園の受け入れがあるからいいじゃないかということではなく、きちんと、なぜ閉園に至ったかということだとか、それから閉園に決める前になぜ保護者に説明がなかったのかということ、意見がたくさん出た。そのときに、議会にこの声を届けしてほしいという意見もあった、保護者の中から。それで、私は、民生常任委員会として、民営化から閉園に、方針がある意味変わるというあたりで、非常に大事なことだと思うので、そのときの説明会の報告をきちんと受けて、そして、今後どのような対応をしていくのかということ、民生の委員の皆さんに報告すべきだと思う。それで、きょうはたくさん議題があるけれども、ぜひ子ども未来部を呼んで、報告をいただければと思うけれども、提案したい。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ 12月15日に皆様には、湯浜保育園閉園ということで、私もこれは大事なことだということで、各委員へ子ども未来部に回っていただいた。そして、資料とともに説明を丁寧にしていただいた。それで、今、1月11日に説明会があって、さまざまな状況があったということも、市戸委員からあった。理事者を呼んで説明を聞きたいということだが、皆さんいかがか。

○工藤 篤委員

- ・ 何か今の話を聞くと、「あれ、ちょっと違うんでないかな」って思った。事前にそういう話をいただいたときには、これは利用者というか、現在いる人方も含めて「あつれきはないのかい」って聞いたんだが、私の記憶では「ありません」と。ちゃんと話は地域にもあるし、対応もできるし、あつれきはないとおっしゃったんだ。今、市戸委員の話を聞くと、それはちょっと違うんでないかって思うんで、事実関係を確認する意味でも、やっぱり担当部局をちゃんと呼んで話を聞くべきだと私は思う。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ ほかに。

○斉藤 佐知子委員

- ・ 私も事前に資料はいただいていたが、民営化が、民営じゃなくて閉園になるというところで、今の市戸委員の、保護者説明会には私は参加していないし、そのあたりでは、本当にどんな声があったのかとか、どういう説明だったのかは、やっぱり子ども未来部に直接聞いたほうがいいのかと思う。

○委員長（池亀 睦子）

- ・ わかった。
- ・ 理事者をお呼びして、説明を受けたいという皆さんの御意見でよろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ わかった。
- ・ それでは、理事者の出席が可能かどうかを委員会散会後に確認する。そして、委員協議会でその状況をお伝えし考えていきたいと思うが、よろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ そのほか、各委員から何か御発言あるか。（「なし」の声あり）
- ・ 散会宣告

午後2時2分散会